

令和3年度豊中市PTA連合協議会・第5回役員会

Think Different 2021

～夢を叶える、未来のために今できることにチャレンジしよう！～

9月29日（水）19時～オンライン会議

次第

（進行：社会教育課）

1. 会長あいさつ 吉田会長

2. 各ブロック・副会長会より特記報告 該当ブロック長
～桜塚小PTAの取り組み事例～ 伊関桜塚小PTA会長

3. 教育委員会より報告 道上教育監

4. 議題案件
 - ・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案
 - ・副会長会アンケート集計表
 - ・大阪府PTA協議会の団体（単P）表彰
 - ・2/5（土）PTA大会の概要

5. その他
 - ・役員から質疑応答
 - ・事務局から連絡
 - ・次回開催日程の確認 月 日（ ）19時～教育センター

6. 閉会あいさつ 会長代行

この年になって行き着いたのは、PTAやれるっていいよねってこと。こんな当たり前のこと昔から分かっていたけど、何て言うのかなあ。質感が違うのよ。 N.YOSHIDA

この年になって行き着いたのは、ライブやれるっていいよねってこと。こんな当たり前のこと昔から分かっていたけど、何て言うのかなあ。質感が違うのよ。 E.YAZAWA

豊中市 PTA 連合協議会・第5回役員会 議事概要

開催日時：9月29日（水）19時～20時30分

開催場所：オンライン会議

出席者：〈豊中市PTA連合協議会〉（以下、「連P」という）

吉田会長（庄内さくら）、仙崎会長代行（豊島）、

田中会長代行（上野）、伊関会計（桜塚）、中尾広報委員長（島田）、

竹田副会長会委員長（16中）、山本副会長会副委員長（15中）、

水野生活安全副委員長（刀根山）、柴副会長（7中）、

森副会長（8中）、内村副会長、西田顧問（桜井谷）、松田顧問（11中）

〈豊中市教育委員会〉

道上教育監、大澤社会教育課長、島津副主幹、佐々本主査

〈豊中市議会〉（視察）

井本議員

○次第

1. 会長あいさつ

吉田会長から、全国小中学校PTA広報紙コンクールにおいて、庄内さくら学園が日本PTA全国協議会長賞、11中がレイアウト賞に入賞したことを大変光栄に思い、11月に東京で表彰式がある旨、挨拶があった。

松田顧問・前11中PTA会長から、PTA活動を知ってもらいたい気持ちで丁寧に紙面作りをしていた広報活動が表彰され、11中PTA関係者も大変喜んでいる旨、発言があった。

吉田会長から、連Pの活発な情報交換や活動が注目され、本日は市議会から井本議員が視察に来られている旨、報告があった。

井本議員から、現在、庄内さくら学園PTAでも活動している関係で日頃、吉田会長から連Pの活発な活動について情報提供いただいている。その連P活動について、市議会でも興味が挙がっているので、本日は役員会を視察したい旨、挨拶があった。

2. 各ブロック・副会長会より特記報告～桜塚小PTAの取り組み事例～

伊関会計・桜塚小PTA会長から、以下の内容について報告があった。

- (1) 桜塚小の運動場で9月18日（土）夕刻からキャンドルナイトを行い、多くの家庭で豊かな時間を過ごしてもらった。（児童・保護者・地域で719名が参加）
- (2) 事業目的として、子ども達に「思い出」「地域への愛着」「助け合う気持ち」を持ってもらうことを掲げた。
- (3) 緊急事態宣言により夏休みのPTAや地域のイベントが全て中止になったので、キャンドルナイトだけは何とか開催したい思いで、感染症対策（消毒をはじめ黙ってウォークスルー等）を徹底して、参加は自由制にして行った。
- (4) 運動場に約千個のろうそくカップを配置したが、そのカップに「家族へ」と

いうテーマで子ども達に言葉や絵をかいてもらった。そのことにより、事前に記入する時の会話や当日に探す時の高揚感から親子の絆が深まった。

- (5) 「キャンドル君」等のキャラクターデザインを掲載したうちわを事前に配布して、色々な側面からも楽しんでもらった。
- (6) 多くの参加者から開催への感謝の声をいただいた。改めて、こんな時期だからこそ、PTAで癒しの時間を提供できる活動を継続していきたい、と痛感した。

西田顧問から、同じようなPTA活動（クリスマス会・花火大会）を行って参加者から感謝の声を頂いたこともあるので、伊関会計の達成感やかけがえのない気持ちを共感する旨、発言があった。

3. 教育委員会より報告

道上教育監から、以下の内容について報告があった。

- (1) 保健所との情報共有や様々な感染事例を鑑みて、8月25日から2学期を始めた。
- (2) 10月1日から緊急事態宣言が解除になるが、学校生活での感染症対策は今後も緩めることはなく、徹底させたい。
- (3) コロナ対策の教育委員会発出文書については、今後も連Pと情報共有しながら、丁寧かつ迅速に行っていききたい。
- (4) 改めて大阪府から感染症対策の指針が示されたが、豊中市では従前からその内容と同様に保健所と連絡を密に取り、円滑な対策を行っているので、引き続きその対策を徹底して行いたい。

西田顧問から、予定通り2学期が始まったことについて、周りの保護者から賛同の声が挙がっていた旨、発言があった。

吉田会長から、昨年度から教育委員会と連Pで情報交換が円滑に行われており、双方が両輪となってコロナ対策と向き合っている。この関係を今後も継続していききたい旨、発言があった。

大澤社会教育課長から、以下の内容について報告があった。

- (1) 9月8日の校長会議において、教育総務課より学校長に学校運営に必要な物品の購入や学校施設管理に要する経費の負担をPTAへ求めるような不適切な取り扱いがないよう伝達している。
- (2) 令和4年度（2022年度）からプール開放事業を市が行う「放課後等の児童の居場所づくり事業」の一環として位置付け、民間活力などを活用し、衛生管理や安全面を確保しながら実施する方向で検討を進めている。

伊関会計から、「放課後等の児童の居場所づくり事業」について質問があった。

大澤社会教育課長から、「放課後等の児童の居場所づくり事業」は現在、モデル校で放課後に校庭開放を行っている事業である旨、説明があった。

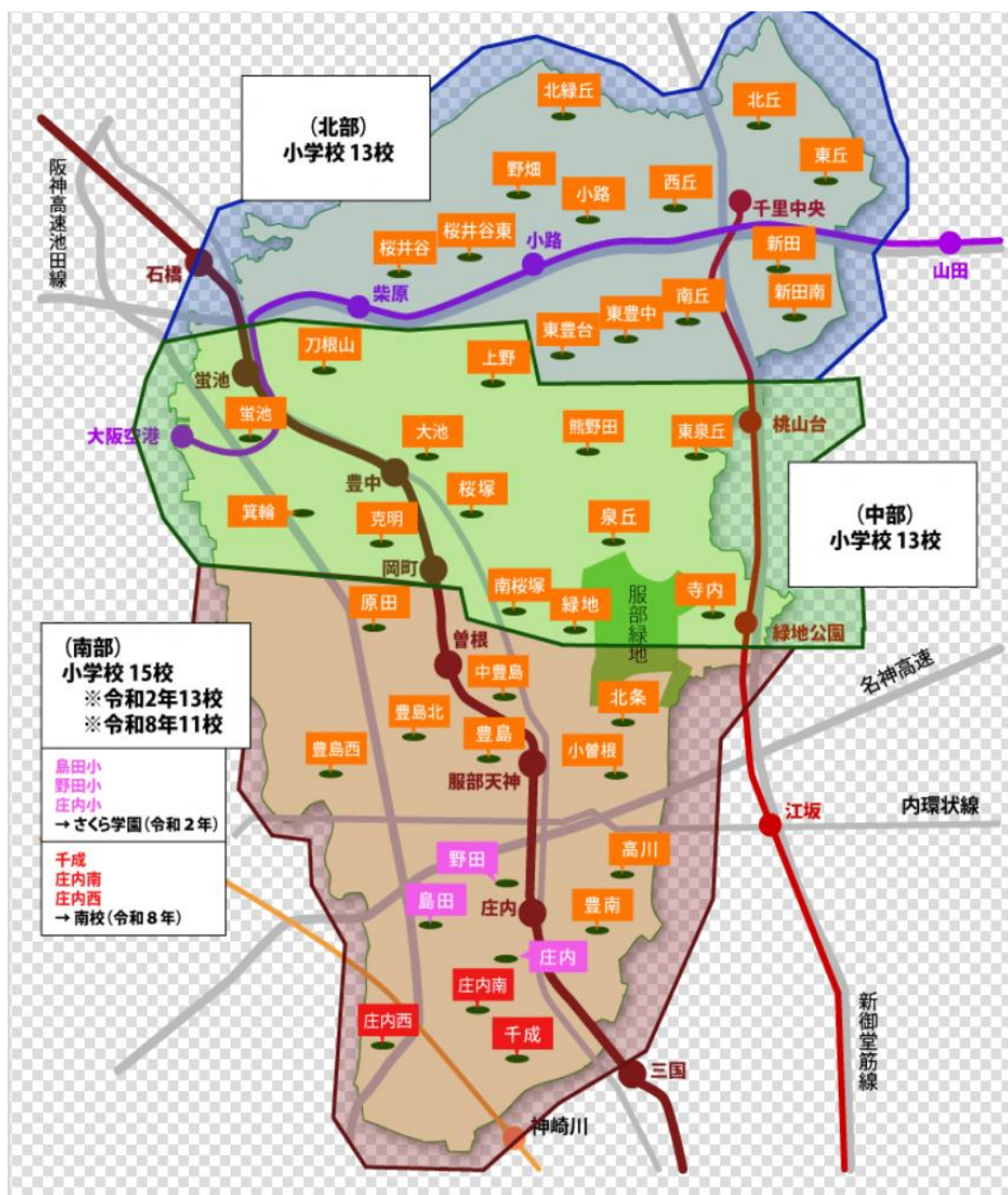
4. 議題案件

・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案

吉田会長から、小中一貫校の庄内さくら学園の開校や統廃合に伴うブロック間の学校数の偏りが生じていることから、2年後に実施するブロックの再編（案）について説明があった。

仙崎会長代行から、小学校ブロックを3つにする場合の分け方について、以下の2案のように説明があった。

- ①「北中南案」北部（13校）中部（13校）南部（15校が令和5年に13校、令和8年に11校）に分ける。



た情報交換会を教育センターに集まって開催したい旨、発言があった。

事務局から、11月の平日午前感染症対策を徹底して、教育センターの研修室に小学校41校・教科教育室に中学校17校が集まる形式の副会長会情報交換会を計画したい旨、発言があった。

- ・大阪府PTA協議会の団体（単P）表彰

事務局から、大阪府PTA協議会から団体（単P）表彰の文書が届き、豊中市から小学校2校・中学校2校の表彰推薦が可能で、表彰校は1月15日（土）表彰式で受賞がある旨、説明があった。

吉田会長から、小学校2校・中学校2校の選考について、該当する単Pがある場合はブロック内で1・2校を選んでもらい、次回の役員会で正副ブロック長もしくは該当する単P会長によるプレゼンしていただき、役員の多数決で決定する提案があり承認された。

- ・2/5（土）PTA大会の概要

吉田会長から、「PTA大会の概要」は次回に持ち越したい旨、発言があった。

6. その他

- ・役員から質疑応答

伊関会計から、児童生徒に配布される通知表の紙質について質問があった。

道上教育監から、各学校で作成される通知表は学校ごとの判断で決められているので、ご希望等も各学校に相談や意見交換いただきたい旨、回答があった。

- ・事務局から連絡

事務局から、市長タウンミーティングの日時を11月18日（木）16時から開催したい旨、提案があり承認された。

併せて、豊中市保健所から連Pに12歳以上のワクチン接種のお知らせについて情報提供があった。

- ・次回開催日程

事務局から、次回役員会の開催について提案があり、10月20日（水）19時～教育センターで「第6回役員会」を開催することとした。

7. 閉会あいさつ

仙崎会長代行から、コロナ禍でもできるPTA活動を探して考え抜かれたPTA活動を行っていききたい旨、挨拶があった。